

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
基礎看護学方法論Ⅰ－５	1年次 後期	必修	講義	1単位(30時間)	岡本 亜希 ※
授 業 概 要					
対象がよりよく生きることを支えるために、看護独自の機能である日常生活を整える技術の基本を科学的に学習する。ここでは、援助の原理原則を学び、様々な年齢や健康状態の人に日常生活援助を実施する基礎を学ぶ。					
到 達 目 標					
1. 日常生活援助技術の科学的根拠や原理原則を述べる。 2. 対象に応じた援助の必要性和方法を述べる。 3. 安全・安楽・自立・個別性に配慮して援助する。 4. 実施した援助を評価し、自己の課題を述べる。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-9	1. 適切な衣服を選び着脱する 1) 衣生活の意義 2) 衣生活のニーズが充足された状態と影響する要因 3) 衣生活のニーズの充足状況の判断 4) 対象の状態にあった衣生活の援助の実際				岡本 亜希 ※
9-10	2. 身体を清潔に保ち、身だしなみを整え皮膚を保護する 1) 清潔の意義 2) 清潔のニーズが充足された状態と影響する要因 3) 清潔のニーズの充足状況の判断 4) 対象の状態にあった清潔の援助の実際 ・全身清拭 計画 実施 評価 ・洗髪 計画 実施 評価 ・陰部洗浄 計画 実施 評価				
11-15	3. 応用技術演習 1) 設定対象者への応用技術の必要性の判断と援助計画の立案 2) 応用技術の実施と評価				
学 習 方 法					
解剖生理学をはじめ看護の概念など、既習の知識を再確認しながら演習する。自分自身が体験することで基本となる知識を確認し、原理原則に沿った基本技術を習得していくので、自己訓練が必要になる。個人又はグループで演習をしながら、手順だけでなく必要な根拠、アセスメント力を高めるように努力が重要である。					
評 価 方 法					
〔評価方法〕 科目修了試験、技術試験、レポート					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 新体系 看護学全書 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 編集 深井喜代子 メヂカルフレンド社 写真でわかる 実習で使える看護技術 アドバンス 編著 吉田みつ子 本庄恵子 インターメディカ 学生のためのヒヤリ・ハットに学ぶ看護技術 監修 川島みどり 医学書院					